

授業改善等に関する報告書（2020年度前期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）日本語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ことばと生活	大塚 みさ	<p>アンケートへのご回答、ありがとうございます。</p> <p>メディア授業対応に際し、「反転学習」という手法を取り入れて授業を実施しました。事前配信教材で各自が学び、responを活用した双方向授業で活発な意見交換を行うというシステムにみなさんが柔軟に適応してくれたので、スムーズに授業を行うことができました。</p> <p>事前配信教材はみなさんの通信環境に配慮して動画、スライド、PDFで配信していましたが、「自分のペースで学べた」という意見を多くいただき、それぞれのペースで学んでもらえたようで何よりでした。毎回実施したコンテンツの分量や難易度についてのアンケートに丁寧に答えていただいたおかげで、改善を重ねることができました。</p> <p>responを使った意見交換についても「よかった」という声を多くいただきました。匿名の良さを生かしたやり取りができたと思います。授業が進むにつれてresponで短時間で優れた回答が書けるようになり、またそれに対する建設的な意見も多く見られるようになり、意識の高さと成長ぶりを感じる半期間でした。</p> <p>その他、日本語についての知識や理解、関心が深まったという意見をはじめ、自らの学びを実感する声を多く寄せていただきました。今後この授業では「自学自習」「協働学習」を重視して、改善を加えていきたいと思います。</p>
ビジネストーク演習②	鹿島 千穂	<p>コロナ禍でリモート授業を余儀なくされ、最初の数回はオンデマンド授業、その後はZoomによる双方向授業を行いました。「話し言葉」を中心とした演習系の授業は、当然のことながら対面授業で行うのが最も効果的ですが、Zoomのブレイクアウトルームを利用してディスカッションしたり、実際にみなさんにも1分間トークにチャレンジしてもらったりすることで、できる限り教室と同じ環境を作り出せるよう努めました。</p> <p>Zoomでの発表はみなさん緊張したことと思いますが、準備をしっかりとって本番に臨んだことがうかがえる内容で、学びの成果が出ていたと感じました。ほとんどの学生が「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えていることを嬉しく思います。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に是非生かしてください。</p>
ビジネストーク演習①	鹿島 千穂	<p>コロナ禍でリモート授業を余儀なくされ、最初の数回はオンデマンド授業、その後はZoomによる双方向授業を行いました。「話し言葉」を中心とした演習系の授業は、当然のことながら対面授業で行うのが最も効果的ですが、Zoomのブレイクアウトルームを利用してディスカッションしたり、実際にみなさんにも1分間トークにチャレンジしてもらったりすることで、できる限り教室と同じ環境を作り出せるよう努めました。</p> <p>Zoomでの発表はみなさん緊張したことと思いますが、準備をしっかりとって本番に臨んだことがうかがえる内容で、学びの成果が出ていたと感じました。ほとんどの学生が「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えていることを嬉しく思います。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に是非生かしてください。</p>
日本文学の歴史 c 近代	高瀬 真理子	<p>テキストと資料を自分で読み込むということがしんどかったのでしょうか。もう少し、図式化とか必要なかもしれませんが、まとめすぎると虚が混ざるといふ皮肉を乗り越える必要があるようです。</p>
情報リテラシー入門	久保 ちづる	<p>この科目は情報活用検定にも適応しており、広範囲の専門的な内容が含まれています。そのため、多くの皆さんには難しく感じる事柄が多いはずですが、コロナ禍で余儀なくオンライン授業を実施することになり、当科目担当者としてさらに不安を抱えながらスタートしました。ただ、オンデマンド授業の形態でありながらZoomを利用して質問対応や簡単な解説を行う場を設けることができ、幸いにも多くの参加者を得られたため、対面授業に比べて欠ける部分を少しは補えたように感じます。</p> <p>授業アンケートでは、皆さんから「パソコンの仕組みや情報モラルのことについて学んで身についた」、「情報の仕組みについての理解が深まった」、「PCのことが少しわかるようになった」、「よく知らずに使っていたHTTPやパソコンの仕組みなどを理解することができた」などの感想をいただきました。</p> <p>授業目標のひとつである「情報活用試験3級」受験の目途が立たない状況は残念ですが、逆にこのような時期だからこそ、この科目で学んだ事柄がこれからの社会ではより重要であることも認識できました。授業アンケートの集計結果の数値からも、皆さんが「真面目かつ意欲的に取り組み、自身の成長を実感できた」ことが分かり、授業の目標を概ね達成していると考えています。</p>
文学とコミュニケーション	高瀬 真理子	<p>zoomで何を使っていいのか、当初は非常に戸惑いました。</p> <p>また、作品分析に時間がいつもよりかかりました。</p> <p>この状況下での可視化を考えていきたいと思いました。</p>

[2020（前期）日本語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本文学の歴史 a 古代	佐藤 辰雄	<p>前期は新型コロナ禍に対応する学園方針に基づきオンライン授業を実施した。</p> <p>(1)授業では動画を6本活用し、zoom授業も1度実施した。教科書を補足するものとして毎回文字資料を送信して、学修の助けとした。</p> <p>(2)毎回課題を出し、提出をもって出席確認および成績評価の素材とした。課題は、200字程度の記述問題に簡単な知識問題を数問出して、授業の理解と自説の展開を求めた。提出期間を10～12日と長めに設定して、他の科目の課題とのやり繰りに対応できるように配慮した。</p> <p>適宜、掲示板や個別指導コレクションを活用した。課題に対しては毎回長所と改善点を個別に指摘した。</p> <p>(3)上代文学は現代人の感覚と異なる観念と感性を丁寧に理解して読み解かねばならず、その上で思考力と文章力を問う記述問題を出したので、短絡的単眼的視点の学生には相当ハードルが高かることは予測でき、確かに例年の通り、提出状況が良くなかったり途中で受講を諦めたりした学生はそうした特性の持ち主が多いようだった。</p> <p>(4)そうして授業と教員に対する評価が低いのは、メディア授業に慣れず悪戦苦闘する教員に向けた苛立ちが含まれているかも知れないが、提出した課題に対して佐藤が毎回下す評価は決して芳しくなく、その不安が自己採点(Q14)の低さに現れているのだろう。他の科目よりも事前事後学修時間が多かった(Q2)のに…の思いが籠もるようである。</p>
情報学への招待	板倉 文彦	<p>概ね平均値に近い評価となりました。</p> <p>情報について「情報学」として学ぶことは、ほとんどの学生について初めての経験かと思われます。しかしフリーコメントにて「知識・理解が深まった」といった意見を多くもらえたことから、こちらの意図通りに理解してもらえたのではと安んじています。</p> <p>今年はオンデマンド授業となってしまいましたが、学生の皆さんが真面目に講義を聞いてくれた結果だと思えます。</p>
ノンバーバルコミュニケーション論	西脇 智子	<p>授業アンケートにご回答ありがとうございます。</p> <p>初めてのオンライン授業でしたが、授業の進むスピードは77%、説明のわかりやすさは64%、パワーポイントなど資料のわかりやすさは67%と評価いただき大変励みになりました。今後ともわかりやすい授業をめざしたいと思っております。</p>
ビジネストーク演習③	鹿島 千穂	<p>コロナ禍でリモート授業を余儀なくされ、最初の数回はオンデマンド授業、その後はZoomによる双方向授業を行いました。「話し言葉」を中心とした演習系の授業は、当然のことながら対面授業で行うのが最も効果的ですが、Zoomのブレイクアウトルームを利用してディスカッションしたり、実際にみなさんにも1分間トークにチャレンジしてもらったりすることで、できる限り教室と同じ環境を作り出せるよう努めました。</p> <p>Zoomでの発表はみなさん緊張したことと思いますが、準備をしっかりとて本番に臨んだことがうかがえる内容で、学びの成果が出ていたと感じました。ほとんどの学生が「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えていることを嬉しく思います。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に是非生かしてください。</p>
小説と戯曲の世界	高瀬 真理子	<p>zoomで見せるまとめ方というのが、非常に難しいと思いましたが、少しずつ、可視化の方法を編み出しています。</p>
ビジネストーク演習④	鹿島 千穂	<p>コロナ禍でリモート授業を余儀なくされ、最初の数回はオンデマンド授業、その後はZoomによる双方向授業を行いました。「話し言葉」を中心とした演習系の授業は、当然のことながら対面授業で行うのが最も効果的ですが、Zoomのブレイクアウトルームを利用してディスカッションしたり、実際にみなさんにも1分間トークにチャレンジしてもらったりすることで、できる限り教室と同じ環境を作り出せるよう努めました。</p> <p>Zoomでの発表はみなさん緊張したことと思いますが、準備をしっかりとて本番に臨んだことがうかがえる内容で、学びの成果が出ていたと感じました。ほとんどの学生が「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えていることを嬉しく思います。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に是非生かしてください。</p>
ビジネスリテラシー入門	板倉 文彦	<p>概ね平均を上回る評価を頂けました。</p> <p>この科目は講義に加えて、毎回新聞を読んでレポートするという課題を課してきましたが、学生の皆さんは漏れなくまじめに取り組みました。</p> <p>例年であれば対面授業の場で、大変な課題に対して学生を励まして進めていきますが、今年はオンデマンド授業となったためそれができませんでしたが。</p> <p>そのような中で、フリーコメントでは新聞を読む習慣が身についたとの意見が多く見受けられました。そういった意味でも今年の学生にはよく頑張ってもらいました。</p>

[2020（前期）日本語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ビジネスリテラシー入門	板倉 文彦	<p>平均値前後の評価でしたが、「総合的な満足度」は平均値を下回っており、教員側の努力不足があったと反省しています。</p> <p>この科目は講義に加えて、毎回新聞を読んでレポートするという課題を課してきましたが、学生の皆さんは漏れなくまじめに取り組みました。</p> <p>例年であれば対面授業の場で、大変な課題に対して学生を励ましつつ進めていきますが、今年はオンデマンド授業となったためそれができませんでした。</p> <p>そのような中で、フリーコメントでは新聞を読む習慣が身についたとの意見が多く見受けられました。そういった意味でも今年の学生にはよく頑張ってもらいました。</p>
医療とコミュニケーション	西脇 智子	<p>授業アンケートにご回答いただきありがとうございます。</p> <p>授業のスピードや説明のわかりやすさや教材については「とてもよくあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の評価をいただき大変励みになりました。今後とも教材に工夫を重ねわかりやすい授業を目指したいと思っております。</p>
古典文学を読む	福島 史子	<p>全体的に平均よりも低い評価であることに力不足を感じております。</p> <p>新型コロナ禍のためメディア授業にしなければならない、オンデマンド型にしようと思ったとき、先ず考えたのは板書メモを充実させることでした。教科書プリント、資料と音声だけではわかりづらいただろうと感じられたからです。通常の対面授業では板書したうえで行う口頭説明を書き加えました。ところが、設問9.板書や……配布資料のわかりやすさ の評価は低めででした。しかし自由記述欄に「板書メモで、資料だけでは分からない部分ばかり、理解が深ま」ったという指摘もあったことを考え合わせると、一定の効果はあったのでしょうか。</p> <p>設問4. 授業の理解度、設問7.説明のわかりやすさ、設問11.成長の実感 の評価も低めででしたが、設問12.具体的に成長を実感したことについて「難しく感じる事も多々あったが意味を理解すると楽しく読むことが出来た」、「当時と今の社会制度や状況の違い(時代背景)を考慮した上で作品を深く読み解く力が身についた」、「源氏物語は複雑なものだと思っていたけれど、しっかり理解出来た」等の声も寄せられました。今後はさらに内容を厳選し、噛み砕いて説明して大方の理解を得られるようよう努めたいと思います。一方で、「やや難しい」が「おもしろい」くらいの授業もよいのではないかとと思われるのですが……。</p>
コミュニケーションスキル入門	鹿島 千穂	<p>オンデマンド型授業に起因する難しさもありました。自由記述欄に「どの箇所を読んでいるのか分からなくなってしまうこと」があった、説明している箇所を「見失ってしまうこと」があった、「質問がしやすいので対面型の方が良いと思」った等の声がありましたが、私自身も対面型であれば、その場で皆さんの反応を確認することができるのと、歯痒い思いもしました。一方、「オンデマンド型なら自分から率先して授業を聞くことができた」、「自分のペースで取組めてやりやすかった」等の感想もありました。設問6. 授業のスピード の評価が割れよかったのも皆さん個々のペースで学び、考察できたからでしょうか。また、毎回ミニレポートを課題としたため負担があったと思いますが「論理的に意見を身につけることができた」、「文章をまとめる力が身についた」等の感想もありました。</p> <p>今後の大きな課題としてフィードバックの方法、できるだけ聞き取りやすい音声等の工夫等も挙げられます。</p> <p>皆さん、不慣れな私のオンデマンド型授業にお付き合いいただきありがとうございます。お礼申し上げます。</p>
ビジネスマナー応用	佐藤 圭子	<p>基本的にはオンデマンド授業で行いました。毎回400字のレポートを提出するのはかなり大変だったのではないかと思います（「週あたりの予習復習時間」が全体平均よりも長かったという結果に出ています）。その努力もあり、回を重ねるごとにコメントのまとめ方が上手になり、評価も上がっていく人が多く、成長を見ることができました。</p> <p>また、それぞれが考えたことをシェアする場を設けるため、2回ほどZoomを使った双方向授業を行い、ブレイクアウトルームでディスカッションをしました。他者の意見を聞くことで視野が広がり、考えが深まった人が多かったようです。</p> <p>55人の受講生がいる授業で、教室で議論をすればさまざまな意見が出て盛り上がると思いますが、リモート授業となり、どちらかというと内省的な学びを中心に行いました。このような形で学修が成立したのも、みなさんの取り組みが素晴らしかったからだと思います。</p>
卒業研究 a⑥	大塚 みさ	<p>今期は、対面授業が実施できず本当に残念に思っております。</p> <p>このような状況下でも、課題をきちんとこなして意欲的に取り組むことができていたことに感心いたしました。</p> <p>秘書検定の上級試験を目指す方は、お役に立てることがありましたらお知らせください。</p>
		<p>アンケートへのご回答、ありがとうございました。</p> <p>全員が授業を通して自己成長を実感できたと回答していたことをうれしく感じました。各自が2～3月に温めてきた研究テーマを、コロナ禍にもかかわらず着実に発展させられた結果かと思えます。</p> <p>自由記述欄には計画立案力や計画実行力、論理的思考力と文章力が習得できたという声が多く、頼もしく感じました。</p> <p>ここで培った力を、後期の「卒業研究b」でさらに伸ばしていけるよう指導に当たりたいと思います。</p>

[2020（前期）日本語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業研究 a ①	佐藤 辰雄	<p>前期は新型コロナ禍に対応する学園方針に基づきオンライン授業を実施した。</p> <p>(1)授業ではzoom授業を1度実施したけれど、動画は活用しなかった。来年1月初めの卒研レポート提出に向けて基本的な「研究」なるものに関して文字資料と課題を送って、逐一その作業の実行を求めた。文章の長さは長短さまざまだったが、平均すれば200字を下ることはあるまい。</p> <p>(2)課題の提出をもって出席確認および成績評価の素材とした。研究レポートを執筆する目的の下、丁寧な作品の読みと自説の展開を求めて、指導にはその点に意を砕いた。提出期間を10～12日と長めに設定して、他の科目の課題とのやり繰りに対応できるように配慮した。</p> <p>適宜、掲示板や個別指導コレクションを活用した。</p> <p>(3)そうして授業と教員に対する評価が低いのは慙愧の至りだが、提出した課題に対して佐藤が毎回下す評価は決して芳しくなく、その不安が自己採点(Q14)の低さに現れているのだろう。他の科目よりも事前事後学習時間が多かった(Q2)のにの思いが籠もるようである。</p>
卒業研究 a ②	高瀬 真理子	<p>配付資料等は一切使いませんでした。</p> <p>zoomでミーティングのみを行い、コンテンツ回収になったので、不安が大きかったと思います。</p>
卒業研究 a ③	大塚 みさ	<p>アンケートへのご回答、ありがとうございました。</p> <p>ほぼ全員が、授業を通して自己成長を実感できたと回答していたことをうれしく感じました。各自が2～3月に温めてきた研究テーマを、コロナ禍にもかかわらず着実に発展させられた結果かと思えます。</p> <p>自由記述欄には計画立案し実行する力、情報を収集する力、問題を解決する力が身についたという頼もしい声のほか、他の学生の発表から視野を広げられたという意見も見られました。</p> <p>ここで培った力を、後期の「卒業研究b」でさらに伸ばしていけるよう指導に当たりたいと思います。</p>
卒業研究 a ④	板倉 文彦	<p>平均値を上回る評価を頂けましたが、これは学生が真面目に、そして積極的に授業に参加した結果だと思えます。</p> <p>ゼミではグループワークおよび発表を通して学生の主体性を養成することを目指しています。しかし授業がオンラインとなってしまう心配しましたが、オンライン上でのグループワーク・発表を通して主体性を発揮する姿が見受けられ安どしました。</p> <p>学生の積極的な参加に感謝します。</p>
卒業研究 a ⑤	鹿島 千穂	<p>前半は私たちを取り巻くメディア環境について概観し、後半は卒業研究レポートのテーマを決定してアウトラインを考えました。</p> <p>メディア授業対応となった当初はオンデマンド授業で行いましたが、途中からZoomでの双方向授業に切り替え、ゼミ生のみなさんには画面共有でプレゼンテーションもこなしてもらいました。努力家で学習意欲が高いみなさんは、こういったハードルを難なく乗り越え、期待以上の成果を上げることができたと思っています。</p> <p>後期はいよいよそれぞれの卒業研究レポートを深めて、形にしていけます。2年間の集大成として納得のいく作品ができるよう、頑張りましょう。</p>